

フレデリック・Ｌ・ショット氏の対日功績概要

手塚治虫氏のマンガの翻訳をはじめ、多くのマンガの翻訳を手がけてきたショット氏は、それ以外にも、日本のマンガ家が米国を訪れた際には通訳として活躍し、また、これまでマンガ、アニメを始め日本のポップカルチャーに関するコラム等も数多く執筆・寄稿してきた。同人は米国における日本のマンガ市場を開拓し、昨今の米国におけるマンガ・アニメ・ブームの火付け役となった人物であり、日本のポップカルチャーを米国に伝え、広めた第一人者である。同人の対日功績概要以下のとおり。

1. マンガの翻訳による功績

同人は、まだ日本のポップカルチャーはおろか日本食や伝統文化も米国内においてはあまり存在感がなかった時分から、日本のマンガを英訳し、マンガの海外普及のまさに先駆者となった。以来、同人は30年以上にわたり、手塚治虫氏の「鉄腕アトム」をはじめ、池田理代子、松本零士、士郎正宗、星野之宣、浦沢直樹等数多くの日本のマンガ家の作品を翻訳・共訳し、海外への普及に貢献してきた。

2. 執筆活動を通じた現代文化紹介における功績

マンガの翻訳活動以外にも、ノンフィクション作家としての執筆活動を通じ、マンガやロボットをはじめとする日本のポップカルチャーに関する著作を執筆している。中でも、日本のマンガがどのような歴史的・文化的背景の中から生まれたかを論じた「マンガ！マンガ！」（“Manga! Manga! The World of Japanese Comics”）は、今や米国内におけるアニメ、マンガ愛好家の間では必読書ともいわれている。マンガ文化に関する入門書、紹介本を執筆することにより、米国内において日本のマンガ市場を開拓した。

なお、同人は、本の出版以外にも、極めて多くのコラムや論文等を各種新聞、雑誌、本等に寄稿しており、その数は代表的なものだけでも200近い。

3. 日本の漫画家の海外活動支援の功績

国際基督教大学留学中に手塚治虫氏と初めて会い、その後も同氏の作品の翻訳等を通じ手塚氏との友人関係を築いた同人は、主に手塚氏の個人通訳として同氏の米国内を中心とした北米地域における活動を支援してきた。また、その他日本のマンガ家やその関係者の海外活動も支援を行っている。

4. 日本の現代文化紹介イベント等における功績

米国内におけるマンガ、アニメ評論・研究における権威としての地位を確立した同人は、数々のイベントにおける講演やコンサルティングを行っており、現代日本文化紹介事業当においてその日本現代大衆文化に係る深い知識と理解を活かして多大な貢献を行っている。サンフランシスコ・アジア美術館が大規模な「手塚治虫展」を実施した際にもアドバイザーとして貢献した。

（了）